

2026年12月期 第1四半期 決算説明

サイオス株式会社
(東証スタンダード市場:3744)
2026年5月11日



目次

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
4. 2026年第1四半期セグメント別概況
5. 2026年成長戦略の進捗
6. 2026年12月期業績予想進捗
7. 株主還元（配当・株主優待）
8. Appendix

1.サマリー

2.会社・事業概要

3.2026年第1四半期連結概況

4.2026年第1四半期セグメント別概況

5.2026年成長戦略の進捗

6.2026年12月期業績予想進捗

7.株主還元（配当・株主優待）

8.Appendix

四半期営業利益は177百万円と順調な滑り出しとなった
(2026年度通期予想進捗率39.4%)

連結売上高

5,895百万円
(前年同期比+18.1%)

連結営業利益

177百万円
(前年同期比+159.4%)
前年比大幅伸長

年度予想進捗率

39.4%
(営業利益)

各セグメントで成長戦略に沿った施策を展開、 全セグメントが前年比増収増益となった

※「※」を付した用語については43頁に注釈を記載

セグメント①

プロダクト
& サービス

セグメント利益前年比 **+29.8%**

グループジェントシリーズを中心としたサブスクリプション製品が順調に推移。ライセンス販売製品のサブスクリプション展開も推進。

セグメント②

コンサルティング
& インテグレーション

セグメント利益前年比 **+58.6%**

昨年度減益となったAPI領域も増益に転じ、セグメント全体で大幅な増益。AI関連案件サービスも受注が順調に進む。

セグメント③

ソフトウェアセールス
& ソリューション

セグメント利益前年比 **+108.2%**

企業向けAI実装に適した高精度な検索ソリューションに加えセキュリティ機能も評価され、Elastic N.V.関連商品が増収・増益に寄与

1.サマリー

2.会社・事業概要

3.2026年第1四半期連結概況

4.2026年第1四半期セグメント別概況

5.2026年成長戦略の進捗

6.2026年12月期業績予想進捗

7.株主還元（配当・株主優待）

8.Appendix

世界中の人々のために、不可能を可能に。

「オープンソースソフトウェア※（OSS）」と

「AI」技術で企業のITを支える

サイオスグループは、1997年の設立以来、オープンソースソフトウェアの商用利用の先駆者として事業を展開してまいりました。現在は、クラウド・AI等の先端テクノロジーを活用したソフトウェア製品の開発・販売および高度なシステムインテグレーション※サービスを提供し、企業のデジタルトランスフォーメーションを支えています。

ミッション実現の3つの推進力 (Driving Force)



連結グループ
6社
(国内4社・米国2社)



従業員数
544名

注)2025年12月31日時点・従業員数は臨時雇用者数を含みませ

ピープル



エンジニア比率
61%

テクノロジー



カルチャー

SIOS Values※
創造・情熱
コミットメント
誠実・チームワーク

注)サイオステクノロジー (2026年4月)

サイオスにはオープンソースソフトウェアの**オープン**で**自由な発想**・**革新性**がDNAとして企業風土に根付き、**競争力**となっています

オープンソースソフトウェア：
世界中の**エンジニア**が**協働**して開発・改善する、高い**透明性**をもつソフトウェア

オープンで活発な情報発信
(SIOS Tech Lab)

部や課のないフラットな組織

社外からの評価



6年連続認定



オープンソースソフトウェアの商用利用から、 先端技術による企業のDX支援へと拡張した進化の軌跡

1997

株式会社
テンアート二設立

オープンソースソフトウェアの日本における先駆者としての歩みを開始

2004

東証マザーズ
上場

オープンソースソフトウェア専門企業として初の快挙

2015

東証第二部
市場変更

東証第二部へ市場変更

2017

持株会社体制へ
移行

サイオス株式会社と事業会社に分割、柔軟な経営体制作り

2022-25

更なる進化

東証スタンダード移行(2022)構造改革を実施、セグメントを変更

2026

第30期 売上高
200億円へ

売上高200億円、AI×オープンソースソフトウェアで更なる成長へ

1997 98 99 2000 01 02 03 04 05 06 07 08 09 2010 11 12 13 14 15 16 17 18 19 2020 21 22 23 24 25 26

オープンソースソフトウェア、クラウド、AI等の先端技術で企業のDXを支援

オープンソースソフトウェアと先端技術をコアとし 3つのセグメントで企業向けソリューションを提供

プロダクト&サービス

自社開発

ソフトウェア製品の
開発・販売・サポート

- 障害対策ソフトウェア
「LifeKeeper」
- 文書管理アプリケーション
- グルージャェントシリーズ
(業務効率化ツール)

コンサルティング & インテグレーション

企業向けシステムの
企画・開発・運用

- 金融領域
- 文教領域
- API領域
- オープンソースソフトウェア
活用支援
- AI導入支援

ソフトウェアセールス & ソリューション

最先端ソフトウェアの
販売と技術サポート

- レッドハット株式会社
- Elastic N.V.

1.サマリー

2.会社・事業概要

3.2026年第1四半期連結概況

4.2026年第1四半期セグメント別概況

5.2026年成長戦略の進捗

6.2026年12月期業績予想進捗

7.株主還元（配当・株主優待）

8.Appendix

全項目で前年比伸長、営業利益以降は前年比大幅伸長となった

(単位：百万円)	2025年12月期 第1四半期実績	2026年12月期 第1四半期実績	差額	前年同期比
売上高	4,992	5,895	+902	+18.1%
売上総利益	1,250	1,399	+148	+11.9%
営業利益	68	177	+108	+159.4%
経常利益	73	229	+155	+210.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	38	133	+94	+242.2%
EBITDA※	76	198	+121	+159.6%
ROIC※(年率換算)	11.2%	23.5%	—	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額
 ※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

利益剰余金の増加により純資産は順調に増加

2025年12月31日

流動資産 7,580 (内現預金 3,586)	負債 6,805 (内有利子 負債47)
固定資産342	純資産合計 1,856
投資その他738	
資産合計 8,662	負債純資産合計 8,662



2026年3月31日

流動資産 8,711 (内現預金 3,899)	負債 7,759 (内有利子 負債42)
固定資産324	純資産合計 1,999
投資その他723	
資産合計 9,758	負債純資産合計 9,758

(単位：百万円)

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
- 4. 2026年第1四半期セグメント別概況**
5. 2026年成長戦略の進捗
6. 2026年12月期業績予想進捗
7. 株主還元（配当・株主優待）
8. Appendix

セグメント別概況総括

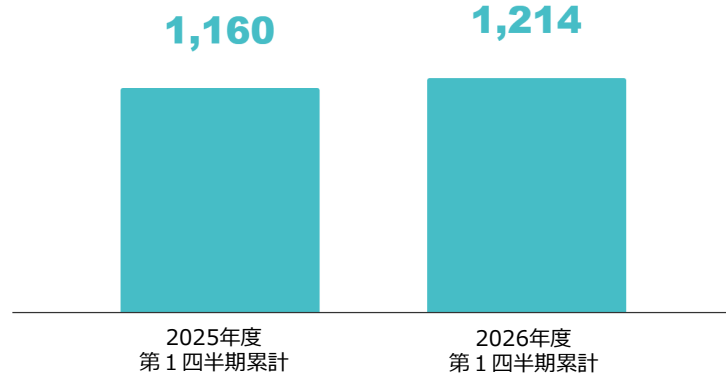
全セグメント前年比増収増益

(単位：百万円)		2025年12月期	2026年12月期	前年同期比
		第1四半期	第1四半期	
プロダクト&サービス	売上高	1,160	1,214	+4.6%
	営業利益	125	162	+29.8%
コンサルティング& インテグレーション	売上高	874	876	+0.3%
	営業利益	99	157	+58.6%
ソフトウェアセールス& ソリューション	売上高	2,960	3,807	+28.6%
	営業利益	36	76	+108.2%
調整 (全社費用他※)	売上高	△2	△3	—
	営業利益	△192	△218	—
連結合計	売上高	4,992	5,895	+18.1%
	営業利益	68	177	+159.4%

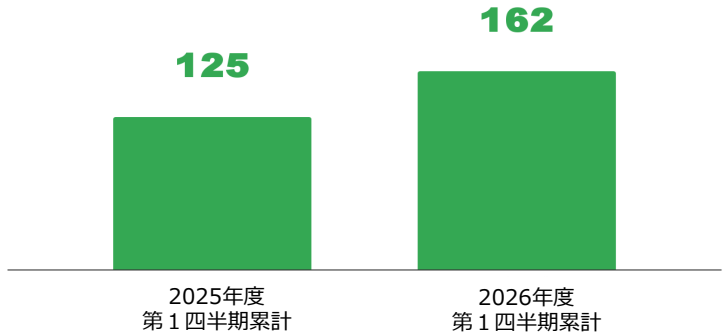
※全社費用は、主にセグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります

(単位：百万円)

売上高



セグメント利益



セグメント利益

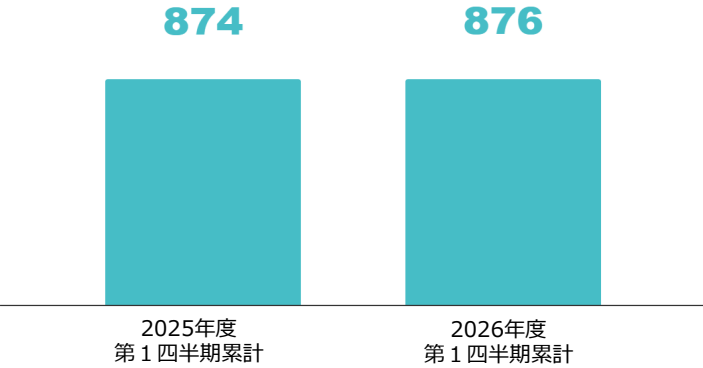
前年同期比

+29.8%増益

主力製品である「LifeKeeper」や「グルージェントシリーズ」の販売が順調に推移し、増収増益となった

(単位：百万円)

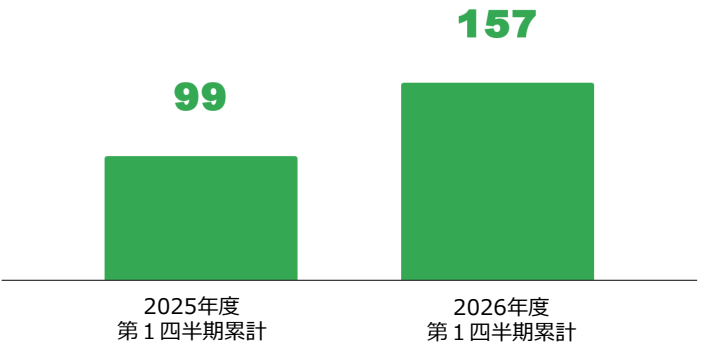
売上高



セグメント利益

前年同期比 **+58.6%増益**

セグメント利益



企業のIT投資の堅調な需要を捉え、前年に続いて受注が好調に推移したこと、API※ソリューション領域で収益が改善したことで増収増益となった

セグメント③ ソフトウェアセールス&ソリューション SIOS

(単位：百万円)

売上高

3,807

2,960

2025年度
第1四半期累計

2026年度
第1四半期累計

セグメント利益

76

36

2025年度
第1四半期累計

2026年度
第1四半期累計

セグメント利益

前年同期比

+108.2%増益

Elastic N.V.関連商品が好調に売上を伸ばした影響等により、増収増益となった

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
4. 2026年第1四半期セグメント別概況
- 5. 2026年成長戦略の進捗**
6. 2026年12月期業績予想進捗
7. 株主還元（配当・株主優待）
8. Appendix

企業理念の推進

世界中の人々のために、不可能を可能に。

中長期的企業価値向上 & 持続的な成長に向けて

ビジネス
モデル

ストック型ビジネスモデルへの継続投資

技術

AIとオープンソースソフトウェアによる事業強化

ビジネスモデル

ストック型ビジネスモデル売上高比率を向上させ、収益力を強化する
(プロダクト&サービスセグメントのストック売上年間40億円超)

サブスクリプション 製品比率の拡大

従来のライセンス販売に加えサブスクリプション提供も可能にし、**ストック型ビジネスモデル製品の比率**を高める

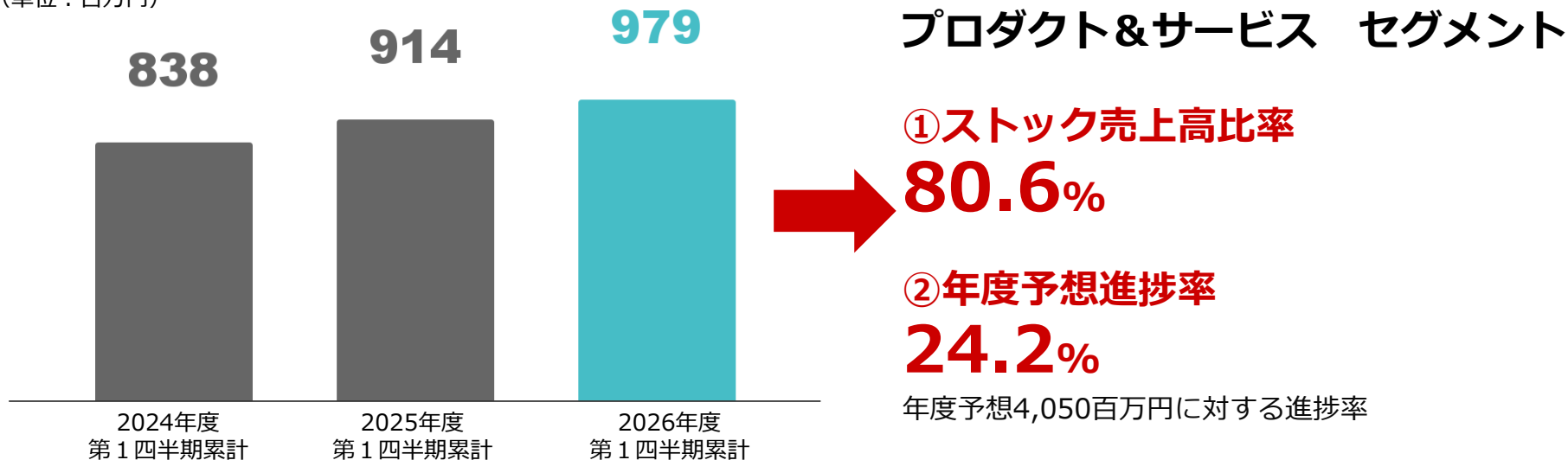
契約数増による ストック売上の伸長

新規契約獲得と**高付加価値品販売**による単価増に注力し、
ストック売上の増加を目指す

ストック型ビジネスモデル売上高比率は高水準で推移

注) ストック売上高：サブスクリプション・保守/サポートを中心とした継続的・安定的な売上のこと

(単位：百万円)



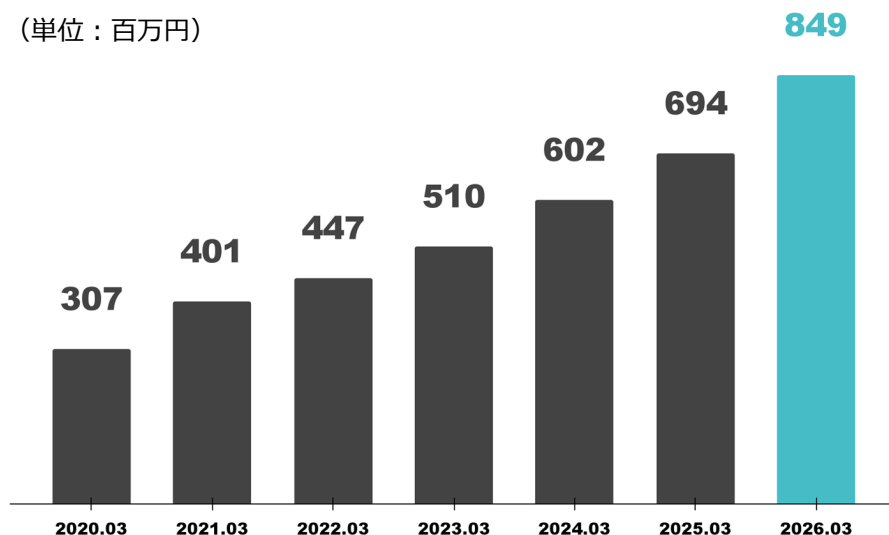
注) 2026年度より一部事業の報告セグメント変更を行ったため、過年度も含め変更後の数値を集計しております

注) 2024年度に事業譲渡した金融機関向け経営支援システム販売事業を除く

グルーエージェントシリーズのARR +22.4% 継続して順調に伸長

【グルーエージェントフロー及びグルーエージェントゲートの合計ARR※推移】

(単位：百万円)



合計ARR

前年伸長率 **+22.4%**

 Gluegent Flow  Gluegent Gate

(グルーエージェントフロー) (グルーエージェントゲート)

前年伸長率 **+49.3%**

前年伸長率 **+7.9%**

※ARR (Annual Recurring Revenue) = 月末におけるMRR (サブスクリプション契約等に基づき毎月繰り返し得られる収益の月間合計) × 12ヶ月

技術

生成AI活用・AIエージェント※的アプローチによる事業強化

プロダクト& サービス

自社製品へのAI機能搭載を継続開発

コンサルティング& インテグレーション

顧客のAI活用支援

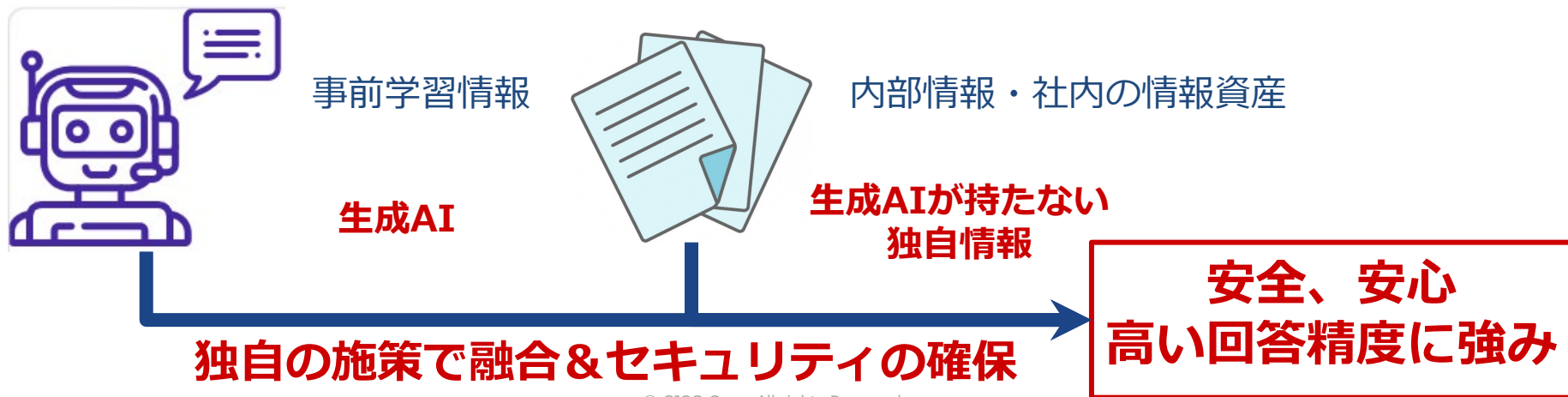
全セグメント

AI活用による開発工数の大幅な圧縮

オープンソースソフトウェア商用利用で得た技術力・知見を ベースにした企業向けAI活用ソリューションを提供

社内ナレッジ活用AIチャット導入サービス

- 生成AIと独自情報を適切に融合することで**商用利用レベルの回答精度**を担保
- 最短2週間のスピーディーな導入が可能



AI導入支援を通じて企業の生産性向上に貢献

大手SIer様

有識者の暗黙知を形式知化し、スムーズな引継ぎを実現
膨大な規約・設計書からAIが最適解を即座に導き出すことで
新任メンバーの学習をサポート。学習期間の大幅短縮により
プロジェクトメンバー間の引継ぎを効率化

モビリティ事業者様

営業ナレッジとAIテクノロジーの融合

過去の提案資料から 施設特性や業種別の空間管理の最適
構成をすぐに抽出
高精度でスピーディな提案で成約率・満足度向上に貢献

データマネジメント領域で新たにSingleStoreと提携を開始、企業のAIアプリケーション実装を強力に支援

<API・AIエコシステムデザインソリューション>

サービスコントロール					設計技術
APIマネジメント		サービスメッシュ	iPaaS	データ連携統合プラットフォーム	
 	 	 		REST・gRPC・graphql, etc	
データマネジメント		DevSecOps		収益化	
NoSQL型分散データベース	リアルタイムデータ処理基盤	API認証認可	オブザーバビリティ	リアルタイム分析	決済プラットフォーム
 	 <div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> </div>	 シークレット管理 	 コンテナ管理 	 ソフトウェアサプライチェーン 	
分散クエリエンジン		脆弱性対策	Ops自動化	CI/CD	マイクロサービス・アーキテクチャ
		 ※API Security			DX・モダナイゼーション

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
4. 2026年第1四半期セグメント別概況
5. 2026年成長戦略の進捗
- 6. 2026年12月期業績予想進捗**
7. 株主還元（配当・株主優待）
8. Appendix

2026年12月期 通期業績予想

通期予想達成に向け着実に進捗

(単位：百万円)	2026年12月期 業績予想	2026年12月期 第1四半期実績	進捗率
売上高	20,000	5,895	29.5%
営業利益	450	177	39.4%
経常利益	510	229	44.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	370	133	36.0%
EBITDA	540	198	36.7%
ROIC	13.4%	23.5%	—

※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・税引後営業利益÷(株主資本+有利子負債)

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
4. 2026年第1四半期セグメント別概況
5. 2026年成長戦略の進捗
6. 2026年12月期業績予想進捗
- 7. 株主還元（配当・株主優待）**
8. Appendix

**2026年12月期は5円、
2027年12月期以降は連結配当性向30%以上を目標とする**

	2026年12月期	2027年12月期	2028年12月期
1株あたり 配当金	5円	連結配当性向30%以上目標	

株主の皆様の日頃よりのご支援に対する感謝を表すとともに、
当社株式への投資、中長期的な保有をいただける株主様の増加を
図ることを目的として、株主優待を導入しております

基準日	保有株式数	優待内容
12月末日	200株以上	2,000円相当のカタログギフト（食品）

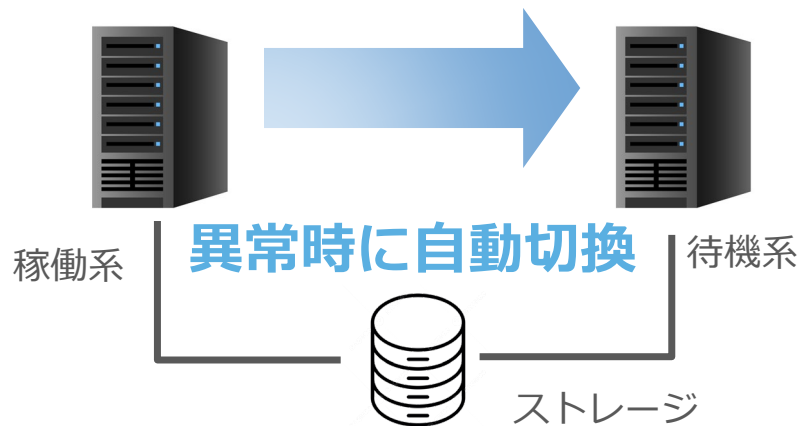
サイオス株式会社株主優待情報：<https://www.sios.com/ja/ir/individual/benefit/>

1. サマリー
2. 会社・事業概要
3. 2026年第1四半期連結概況
4. 2026年第1四半期セグメント別概況
5. 2026年成長戦略の進捗
6. 2026年12月期業績予想進捗
7. 株主還元（配当・株主優待）
- 8. Appendix**

製品・サービス概要

障害対策ソフトウェア LifeKeeper

24時間365日監視



「止められないシステム」を 支えるソフトウェア

- 顧客のシステム運用状況を常に監視し、障害発生時には稼働系※システムから待機系※システムに自動切替えを実施し、システム停止時間を大幅に短縮
- 行政・通信・金融等の「止められないシステム」の障害対策に貢献しています

文書管理アプリケーション

スキヤンの手間を半分に、
文書管理を簡単に



- 複合機での「スキヤン」の手間を減らし
便利に文書をデジタル化できるスキヤン
アプリケーション
- スキヤンデータの整理、検索が可能になり
紙の保管の手間やコストを削減

ワークフローシステム グルージェントフロー

カンタン申請・承認、 導入もスムーズ



グルージェントフロー

紙の稟議をクラウド化

申請・承認を効率化する
使いやすいワークフロー

交通広告掲載中! 特設ページオープン!

New
付箋機能

NAI
AAA Credit
ASPIC
2024
SIOS
Good Service
2024

- 紙の稟議書や押印をなくしクラウド化することで決裁のスピードアップを実現するソフトウェア(ワークフローシステム)
- スマホやPCからいつでも安全に申請・承認が可能なおうえに、文書要約や検索等のAI機能を搭載し使いやすさを追求

ID管理システム グルージェントゲート



リモートワークやクラウド時代に 最適なID管理・セキュリティソフト

- 1回の本人認証で複数の社内システムへのログインを実現し、パスワード管理等の煩雑さから社員を解放
- 「いつ」「誰が」「どこから」の制御に加え、多要素認証で本人確認を強化し、なりすましによる不正アクセスを防御

【主な事業領域】

金融領域



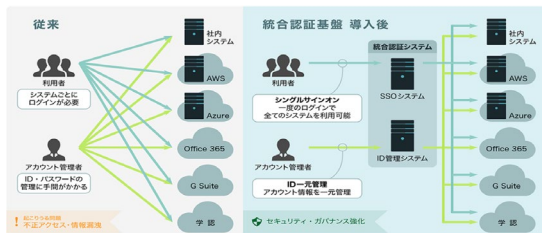
Financial & Unique SI Service Line
ファイナンシャル&ユニークサービスライン

上場企業、金融機関に選ばれ続ける
 革新的なシステムインテグレータ

20年間、上場企業や大手金融機関を中心としたシステムを提供し続けてきた私たちは、お客様の高度な信頼に応える堅実な提案力と柔軟的な技術があります。

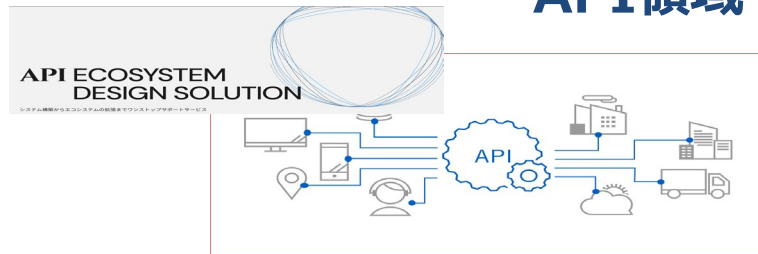
上場企業や大手金融機関を中心としたシステムインテグレーションサービス提供に20年以上の実績

文教領域



100を超える大学・教育機関への導入実績のある
 教育機関向け認証ソリューション

API領域



ワンストップでAPIプロジェクトを支援

生成AI導入支援

SIOS NEXT TECH SOLUTIONS

エンタープライズでの生成AI導入を支援

【主要提携先】

レッドハット株式会社



世界最大級のオープンソース企業であるレッドハット株式会社のパートナーとしての20年以上の実績を通じて顧客の情報システム構築に貢献します

Elastic N.V.



国内初のディストリビューターとして共同で日本国内における展開を強化します

用語集

頁	用語	説明
7	オープンソースソフトウェア	Open Source Software(OSS)の略。ソースコードが公開され、誰でも無料で利用、改変、再配布が許可されているソフトウェアのこと
4	システムインテグレーション	システムの企画から開発、その後の運用までを一括して請け負うサービスのこと
8	SIOS Values	サイオスグループが掲げる行動指針や価値観のこと
18	API	Application Programming Interfaceの略。異なるソフトウェアやアプリケーション間で連携させ、効率的に機能やデータを共有するための仕組み
25	AIエージェント	単発のタスク処理にとどまらず、複数の業務プロセスを連携させ一連の仕事を完遂できるAI技術
25	生成AI	大規模言語モデル(LLM)などを活用し、テキスト、画像、コード等を自律的に生成できるAI技術
26	RAG	Retrieval-Augmented Generationの略。検索拡張生成。大量の知識を持ったAIモデルに企業独自の情報を外部知識として活用することができる仕組み
36	稼働系システム・待機系システム	稼働系システム：通常時にサービスを提供する「メイン」システム 待機系システム：メインが故障した際に稼働系と入れ替わるシステム

SIOS is Innovative Open Solutions

本社 東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル

資本金 1,481百万円

設立 1997年5月23日

市場 東証スタンダード（証券コード：3744）

社員数 連結493名（2025年12月31日現在）

主な連結
子会社 サイオステクノロジー（株）
サンディブルー（株）
SIOS Technology Corp. <米国>

IRサイト <https://www.sios.com/ja/ir/>

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェアを活用したシステムインテグレーションを原点とし、ソフトウェア製品及びSaaSを提供するテクノロジー企業群を子会社とする持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をグループミッションに、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献してまいります。

詳細情報は、<https://www.sios.com> をご覧ください。

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。

但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、弊社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。

本件に関するお問い合わせ

サイオス株式会社 IR担当

Tel : 03-6401-5125 (直通)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html

